

広域観光・文化振興局の取組

■「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成24年3月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。この計画は、概ね10年間を見据え、関西広域連合として府県や住民など幅広い主体のまとめ役を担いながら、関西が一体となって戦略的に取り組む方向を示しており、計画に基づいた取組を進めてきています。

なお、計画については、社会情勢等の変化を受け、26年度中に見直しを図ることとしており、検討委員会を設置して改定の検討を進めています。

計画に掲げた将来目標等

- ・日本の現状 来日外国人客数は世界第30位。魅力の発信と活用が不十分
- ・将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都」にする
- ・数値目標 関西への訪問外国人客数について、年間約1,000万人を目指す

<5つの戦略>

1. 「KANSAI」を世界に売り込む

広域観光ルートの提案、「KANSAI国際観光YEAR」の展開 など

2. 新しいインバウンド市場への対応

ニューツーリズムの魅力強化、MICEの取組強化 など

3. マーケティング手法による誘客

ビジネスネットワーク構築、KANSAI WEB戦略 など

4. 文化振興等との連携

文化芸術活動等の交流と関西文化の魅力発信、関西文化に親しむ機会の拡充 など

5. 安心して楽しめるインフラ整備の充実

関西国際空港の魅力向上、おもてなし・利便性の向上 など

○文化振興指針「文化首都・関西」ビジョン

文化振興の取組を強化し、関西文化の魅力を内外に発信するため、「文化首都・関西」の実現と併せ、標榜する「アジアの文化観光首都」としての発展を目指すという理念のもと、関西における豊かな文化創造を育む基盤づくりが最も必要であるとの視点に立ち、文化振興指針を策定しました。

○平成26年度予算

戦略の具体化を図るため、広域観光・文化振興分野として、当初予算は32,309千円で、うち4,500千円は文化振興事業費です。

平成26年度分野予算

- | | |
|------------------------------|---|
| ・KANSAIブランドの構築
(28,014千円) | KANSAI国際観光YEARの実施
海外プロモーションの実施
関西文化の魅力発信事業 など |
| ・基盤整備の推進(3,885千円) | 関西全域の観光統計調査、通訳案内士 など |

■取組状況

○KANSAIブランドの構築

世界の観光マーケットにおいては、関西(KANSAI)の知名度はまだ低い状況にありますが、外国人観光客誘客に向けて、将来的にはブランドとしての優位性を確保する必要があります。このため、個々のイメージではなく、「関西」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取り組みを展開します。

(1)「KANSAI国際観光YEAR2014」

世界に誇る関西の魅力や強みをトータルに1つの通年テーマとして発信する「KANSAI国際観光YEAR」では、2013年は「関西の食文化」を、2014年は「関西のマンガ・アニメ等」をテーマに、官民が一体となりPR活動を行ってきています。

2014年のテーマ「マンガ・アニメ」については、5月に関西国際空港「関空旅博2014」と連携した外国人観光客向けPRを実施し、9月には「京都国際マンガ・アニメフェア2014(京まふ)」と連携し、マンガ・アニメを切り口としたインバウンド観光についてのシンポジウムや、京都駅で外国人観光客に向けてのPR活動を行いました。また、「関西観光web」でも関西の食やマンガ・アニメ等の関連情報を広く発信しました。



「関空旅博2014」と連携した観光PR
(平成26年5月24日～25日)



マンガ・アニメを切り口に、インバウンド
観光の可能性や展望を考えるシンポジウム
(平成26年9月20日 京都国際マンガミュージアム)

(2) 海外プロモーションの実施

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと広域連合長等によるプロモーションをこれまで8回に渡り実施し、歴史や文化、食やマンガ・アニメなど関西の多様な魅力を紹介し、KANSAIブランドを発信しています。

・タイ・マレーシアプロモーション

今年度は、11月19日（水）から22日（土）にかけて、関西経済界等との連携のもと井戸連合長を団長に総勢35名の訪問団が、タイ及びマレーシアにおいてプロモーションを展開しました。

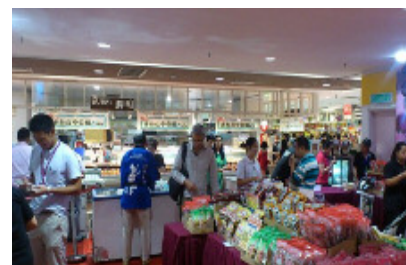
タイ及びマレーシアは、経済発展やビザ発給要件の緩和等により、訪日外国人観光客数が大幅に伸びており、両国政府の要人訪問や現地旅行社を対象としたセミナーの実施のほか、マレーシアでは現地大型商業施設で関西観光展・物産展を開催し、観光誘客や特産物の販売促進を展開しました。



タイ国スポーツ観光大臣
表敬訪問



マレーシア 観光展オープニング
セレモニー



マレーシア 物産展

(プロモーション実績)

年度	訪問先	日程	参加者	行催事
23	中国 (北京市、上海市)	2011/07/20～23	連合長、山田委員、嘉田知事、平井知事、森関経連会長ほか総勢57名	20日：表敬訪問、フォーラム等(北京市) 21日：表敬訪問(北京市) 22日：表敬訪問、観光セミナー等(上海市)
	韓国 (ソウル市)	2011/09/18～20	山田委員、平井知事、森関経連会長ほか総勢20名	19日：表敬訪問、観光セミナー(ソウル市) 20日：表敬訪問(ソウル市)
24	韓国 (ソウル市)	2012/08/01	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	1日：表敬訪問、観光セミナー(ソウル市)
	中国 (北京市、杭州市、上海市)	2012/09/11～13	連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか総勢50名	11日：観光セミナー(北京市) 12日：レセプション(杭州市) 13日：観光セミナー等(上海市)
	シンガポール マレーシア	2013/02/17～19	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	17日：レセプション(シンガポール) 18日：意見交換会、旅行社訪問(シンガポール) 19日：表敬訪問、旅行社訪問(マレーシア)
25	中国 (香港、広州市)	2013/09/13～16	連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか総勢50名	14日：関西観光展、物産展オープニングイベント、レセプション等(香港) 15日：情報交換会、視察等(香港、広州市) 16日：表敬訪問(広州市)
	タイ	2014/02/20～21	田中広域観光・文化振興局観光課長、森官民連携担当参事、櫻井和歌山県課長ほか総勢7名	20日：タイ国際旅行フェア(タイ) 21日：タイ国際旅行フェア、表敬訪問等(タイ)
26	タイ マレーシア	2014/11/19～21	連合長、山田委員、福島関空会社会長ほか総勢35名	19日：レセプション(タイ) 20日：旅行セミナー・表敬訪問(タイ) 21日：旅行セミナー・表敬訪問、関西観光展・物産展オープニングイベント等(マレーシア)

(3) 名誉観光大使「KANSAI 観光大使」の任命

関西と海外との架け橋として活動され、関西へのインバウンドに尽力いただいている方々を、さらなる活躍を期待して「KANSAI 観光大使」に任命し、海外におけるネットワークの強化を図っています。これまでに任命した 12 名の方々に加え、今年度もタイプロモーションで 2 名の方を新たに任命し、関西の情報発信を行っていただくこととしています。

タイ

吉川 歩（旅行会社社長）

タナボディーバジャラシア（旅行会社社長）

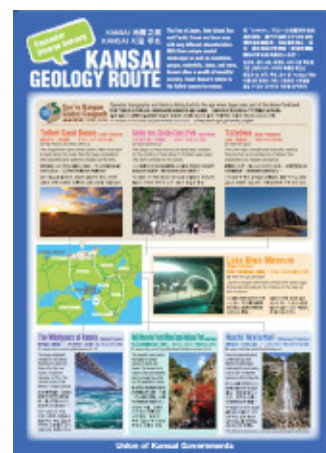


(4) 山陰海岸ジオパーク活動の推進

これまでもプロモーションにおいて多様な関西の観光資源を紹介する中で、広域観光連携のモデル的な取り組みである山陰海岸ジオパークに関するトップセールスを実施しています。

また、外国人旅行者向けフリーペーパーで、山陰海岸ジオパークなど関西の優れた地質景観スポットを「地質の道」としてPRしました。

※平成 26 年 9 月 23 日に山陰海岸ジオパークは、平成 30 年までの 4 年間、再び世界ジオパークとして認定されました。



「地質の道」紙面

(平成 25 年 12 月)

○文化振興の取り組み

(1) 人形浄瑠璃をテーマにした関西「文化の道」事業の推進

関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業を展開。能楽、歌舞伎と並んで日本三大芸能の一つであり、関西で発祥し全国に広がった関西共通の文化である「人形浄瑠璃・人形芝居」にスポットをあてた取組を推進しました。

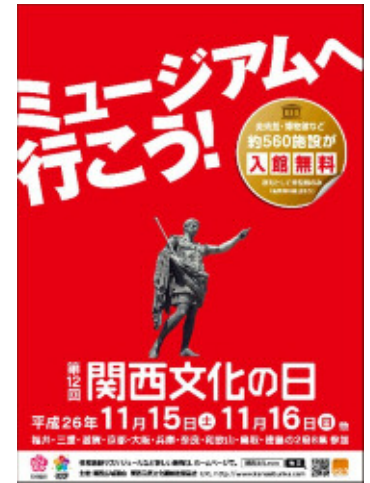
<取組状況>

- ・ 「全国人形芝居サミット&フェスティバル」を共催し、関西の人形浄瑠璃を全国に発信。
- ・ 各施設・公演への誘客を目的として、人形浄瑠璃施設・公演情報を掲載したリーフレットを作成・配布。
- ・ 関西の人形浄瑠璃をテーマとしたセミナー・ツアーを実施するとともに、映像を記録・作成し、国内外に発信。

(2) 「関西文化の日」及び「関西文化月間」の取り組み

関西2府8県の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て、11月15日(土)・16日(日)を中心に常設展等を無料とする「関西文化の日」について、過去最高の564施設の参加のもと、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供しました。

また、初めて今年度は「関西文化の日」の取組と連動し、11月を「関西文化月間」と位置付け、関西各地の様々な芸術文化情報を幅広く発信しました。



(3) 「関西元気文化圏推進フォーラム」の開催

伝統芸術と新しい文化芸術が共存している関西において、固定観念にとらわれない、新しい視点からの文化芸術の見方について考えようと、「文化芸術の再発見」をテーマに、関西元気文化圏推進協議会等との共催で、平成25年度から関西各地で「関西元気文化圏推進フォーラム」を開催しています。

<取組状況>

	開催日	開催地	会場	テーマ	参加者
第1回	2013.6.22	滋賀県	大津市伝統芸能会館	狂言	200名
第2回	2014.2.1	大阪府	国立文楽劇場	文楽・今様	750名
第3回	2014.9.15	奈良県	奈良県新公会堂	能	500名
第4回	2015.1.21 (予定)	兵庫県	兵庫県公館	震災復興と文化の力	500名



(4) 関西文化に親しむ機会の充実

関西全域の芸術文化情報を、年間を通じてタイムリーに発信できるWebシステムを本格稼働するとともに、スマートフォン対応も実施しました。また、地域文化の結晶である祭りを「祭りの道」としてまとめ、関西各府県の「祭り情報」を広域で一元的にデータベース化し、併せて英語対応も実施しました。

(5) 関西文化の振興のためのプラットフォームづくり

関西文化の内外への発信を強化し、関西文化を一体となって振興するため、様々な分野の専門家等から幅広い知見を求め戦略を検討するとともに、さらなる行政間等の連携交流を図るため「はなやか関西・文化戦略会議」を設置し、「2020年東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ2021などの開催に向けた関西文化の内外への発信強化」について、先行して検討を始めました。

○その他の取り組み

(1) 効果的な情報発信

関西観光WEBや関西文化.com、SNSなどを通じ、関西の魅力ある情報を効果的に発信しています。

(2) 人材の育成（通訳案内士）

平成25年度から外国人観光客の満足度・再来訪意欲を高めるため、広域連合で関西圏域の通訳案内士の研修を行い、各自のスキルアップや関西の魅力をあらためて認識いただき活躍の場を広げる支援をしています。



(3) 観光統計調査

関西としての効果的な誘客の取組を進めるため、観光庁の「訪日外国人の消費動向年次報告書」データを二次利用して構成府県内を訪れた外国人観光客の消費動向などを整理・分析し、ニーズの把握に努めており、誘客促進につながる方策について検討していきます。